

令和4年度 社会教育委員 第6回会議（会議不成立のため意見聴取会）

令和5年1月26日（金）

15:00～17:15

初倉公民館第1、2集会室

【出席者】

社会教育委員：田代保廣委員、萩原淑恵委員、熊谷紀男委員、
教育委員会社会教育課：清水社会教育課長、伊藤課長補佐兼社会教育係長、
上野初倉公民館係長

- 令和4年度 社会教育委員 第6回会議は、当日の社会教育委員の出席が半数以上に達さず、島田市社会教育委員会議規則第4条第2項により、会議の開会条件を満たさなかったため、不成立となった。

しかしながら、一定数の社会教育委員にご出席いただけたことから、意見聴取会として、議題(1)を除き議事を進行した。

【会議の内容】

1 開会（事務局：伊藤）

- ・配布資料の確認を行った。

2 田代議長あいさつ

- ・お仕事や急な体調不良によりお休みの方が多くやむを得ない。少ない人数の中で議論の中身を濃いものにしていきたい。
- ・本日は初倉公民館を会場に上野センター長に概要説明と施設の案内をお願いしている。よろしくお願いします。
- ・はたちの集いについて、委員の皆さんに運営ボランティアで参加していただいた。ありがとうございました。
- ・コロナについては、4月には第5類に移行されるという話もあり、そうなれば私たちの活動も広がるのではないかと期待するとともに、感染拡大も心配しなければならない。
- ・家庭教育の在り方の周知については、今月30日に初倉中の新1年生の説明会で10分程度時間をいただき私が保護者にお話ししてくる。初倉小でも日時は決まっていないが、時間を貰えそうなので周知に行く予定である。
- ・また、私が所属している初倉郷土研究会の季刊誌に家庭教育の在り方について執筆し投稿した。冊子ができたら皆さんにも見ていただきたいと思います。
- ・本日もよろしくお願いします。

3 清水課長あいさつ

- ・はたちの集いにご協力を賜りありがとうございました。
- ・本日配布させていただいた中の「春風秋霜」に元日マラソンのことが載っ

ている。元日マラソンに私は仕事として今年は参加した。子どもが幼い時は一緒に2km走ったこともあるが、大変だった記憶がある。

- ・「春風秋霜」には、市民ひとり1スポーツと記載されており、生涯学習も市民ひとり1生涯学習としている。何か一つ続けながらやっていただくといいかなと思っており、心と体の健康を維持していくには、そのようなところを推進していければと思っている。
- ・本日、公民館の今後のあり方をはじめ、いろいろな議題があり、公民館の館内をご覧いただいたあとの協議となるが、よろしく願います。

4 視察

(1) 初倉公民館の概要説明

上野公民館係長から説明を行った。

(質疑)

- ・利用区分に金谷宿大学とあるが、ここを会場に行っているのか。
→金谷宿大学は旧金谷町時代に始まったものなので、基本的には金谷公民館を中心に行っているが、すべてを金谷公民館で実施することは困難である。教授のご希望もあり、お二人の先生がここを会場として利用している。一人の教授が2講座開講しているので合計3講座。お一人が初倉地区在住で、もう一人の方が榛南地区の方である。
- ・シニアクラブの方々が清掃活動等してくれて有難いことだが、公民館との繋がりはないか。
→「シニアクラブ」イコール生涯学級（高齢者学級）に近い。生涯学級にシニアクラブから推薦されてくるような仕組みになっている。
- ・資料P23の「公民館利用者（利用団体）等について」の一番下「児童センターを利用する子どもや寺子屋参加者の子どもの様子を見ると、子どもだけではなく家庭を安定させる必要がある。初倉公民館でも団体運営の『こども食堂』がスタートし3年が経過した。」とあるが、代表である青山さんと話しをしたことはあるか。
→私が公民館に勤務し始めた年にこども食堂がスタートした。活動の様子を私達職員が見る中で疑問を感じることも正直あった。それは本当に支援が必要な家庭を支援することができているのかなということである。そこで、青山さんと話しをしたところ、支援が必要な人達をターゲットにするとかえって来づらい人もいるのではと。だから、「誰でもどうぞ」とすることで、結果としてその中に支援が必要な方がいてくれればいいとのことだった。また、貧困家庭への食料品の配布やつくらンド、子どもの居場所づくりで会場を利用してもらっており、こちらができることで協力している。
- ・学習支援の「しまだっ子」について六合公民館で活動しているが、ボランティアで毎回カレーを作って出してくれている。本当に支援が必要な方達は例え1食であっても喜んでくれている。紛れていても、そのような方達に支援が渡るといえるのは行きやすくなっていると思う。
→実際、見た目、服装などでは私達が見ていても判らない。

- ・経済的に困っていなくても、養育的に支援が必要な家庭もあるし、いろいろな家庭がある。利用してくれるといい。
 - ・社会教育関係の施設の中で、図書館や博物館は範囲、対象者、利用者は固定化している。海外には公民館とは何かと比較するものがない。文科省の英語版をみたら公民館の訳にあてられているのは“パブリックウォール”である。パブリックウォールとは何かというよく判らない。各公民館の職員が四苦八苦しなから、すごい知恵を集めて活動している。対象者が幼少期から高齢者まで、いろいろなところから人達を集めている感じがする。それが固まってしまうと、次の世代がなかなか入れない気がする。住民から評価されているか、あるから行こうというイメージが強い。私は地区の公会堂で活動しているが、集まる人は同じ。次の世代は見向きもしてくれない状態である。公民館は機能を取りこみ過ぎている中で、これからのように活動していけばいいかは、地域によって違って来るし、担当者が代われれば変わってしまうのでは。又は前例踏襲で変わらないか。公民館の範囲や設備、テクニックなどを社会教育委員会や公民館運営審議会で明確にしておろす必要があるのではないか。
- ここは複合施設で5つの機能があることが強みである。日常の何かの利用でこの施設に来てくれる。他の公民館よりも足を運んでくれる機会は多いのではないかと思う。更にコミュニティ委員会の事業もここを活動の拠点としており、事業・イベントの参加者は施設を知り、また行ってみたいと思っただけのいい機会になっていると感じている。
- ・公民館には包括支援センターまである。私の住んでいるところは保健センターが包括支援センターの担当。でも相談しにくい。電話をかければいいのかもかもしれないが、かけるまでのトラウマがある。
- 公民館は、“くらら”という複合施設の中のひとつの機能であるが、まずはくららに相談してみようと気軽に相談できる環境づくりを心がけている。
- ・私がパン作りの講座に通いたい場合には行けるのか。
- 島田市内在住の方かお勤めの方なら大丈夫である。
- ・男性、高齢者の参加は少ない。出て来ないのは人見知りや照れるということなのかもしれない。
 - ・高齢者の男性もここには来ないけど、グランドゴルフ場とかどこかで動いているのでは。
 - ・私より少し下の世代は、お休みを取って家族のために何かをするという世代だと思うので、これから変わってくるのではないか。男性もこれから出てくるのでは。
 - ・小学校の入学式も三世代で出席するなど保護者が多い。
- 興味があると出てきてくれると思ったのは、「コーヒー焙煎」の講座。今年度は5人だが、前年度はもっと多かった。中には初めて公民館に来たという人もいた。興味があれば来ると考え2年続けて実施したが人を集めることは難しいと感じた。

(2) 館内案内

上野公民館係長に館内の案内してもらった。

(質疑)

- ・小学校と隣り合わせの施設は、この周辺、志太地区においても珍しい。小学校としても環境的に恵まれたところだと伺っている。小中学生が用事があるわけではないが施設に立ち寄ってくれる。寄りやすく集まる場として使ってもらえるのはとても良いことではないかと思う。(上野係長)
 - ・施設のメンテナンス費用はどのくらいか。
- 急に発生したもの、例えば、ガラスや扉の破損などの突発修繕費用としては年間 25 万円の予算である。それ以外に、計画的修繕があり、例えば、雨漏りの修繕が発生したとすると、市内の社会教育施設で重要性・緊急性等を勘案し順位付けを行い予算が付くことになる。次年度に付くこともあるし、2、3年後と時間がかかることもある。中々、予算が付かなくて苦労している。

5 議題

(1) 「島田市における公民館の今後の在り方について」の検討

- ・会議不成立のため、この議題は次回会議に持ち越しとする。

○田代議長が上野公民館係長に、「公民館の今後の在り方」について参考として意見を聞いた。

- ・初倉公民館は複合施設なので、その中でお互いに連携して運営しているので、公民館とかセンター化とかは住民に大きな影響は無いのではないかと思う。ただ、地域の住民が何を望んで何を求めているかを把握した上で進めることが重要であると思う。

(2) 令和5年度社会教育団体に対する補助金の交付について

- ・社会教育法第13条において、地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ社会教育委員の意見を聴いて行わなければならないとされている。令和5年度社会教育団体に対する補助金の交付についてご意見を伺った。
- ・以下、質疑応答。

Q 体験寺子屋事業は始めてのものか。

A 今までは通学合宿が対象であったが、宿泊を伴う点は変更ないが対象事業を拡げたものになる。

Q 名称が変わっただけではなくて事業自体も広がった？

A 通学合宿以外の事業でも対象になってくる場合がある。

Q ジャンボリーは10,000円補助を貰っても、そのお金だけでは行ってこれないが、それ以外は自費か。

A 自費若しくは関連団体等の補助などが考えられる。

Q 参加料が対象か。

A 参加料のみではなく、参加に係る費用が対象になる。

(3) 令和5年度志太地区社会教育委員研修会について

- ・来年度、志太地区の研修会の当番市になるため、実施方法・開催日時・会場・講演会内容等について検討が必要である旨を事務局が説明した。
 - ・開催内容については、コロナ対応も今後変わってくることを考慮すれば、フルバージョン、コロナ前の実施方法で考えていくのが良いのではないか。
 - ・会場は茶の都ミュージアムがいいのでは、駐車場もあるし。
 - ・湯日小跡のグランピング施設に見学に行くのはどうか。湯日小の校舎で実施し、分科会はグランピング施設で行うことも面白いのでは。
- 旧湯日小の中で、そういったことができるか確認する。
→教室はリノベーションしてワーケーション施設になっているかもしれない。職員室は地域の交流広場になっていると思うが。
→次回の会議までには確認し、提案できることがあれば提案させていただく。

(4) 令和4年度社会教育関係者研修会について

- ・2月21日静岡市内の「あざれあ」で開催される。出席者数に4名と制限があるため、田代議長、萩原副議場の他に、本日出席されている熊谷委員にお願いすることとし承諾していただいた。

6 報告

(1) 島田市はたちの集いについて

- ・事務局より実施状況について報告した。
- ・成人年齢が引き下げられ、初めての開催であったが、大きなトラブルもなく無事に終了することができた。
- ・対象者の出席率は、ほぼ昨年並み。
- ・式典中は多少の私語はあるものの、進行には支障はなく実施できた。
- ・式終了後については、ここ数年、駐車場等での過度な飲酒により、救急搬送される者がいたが、今年度はそのようなこともなかった（酒瓶を取り上げたのは1名のみ、のぼり旗持参した者も1名のみ）
- ・駐車場については、今回、式が始まった14時以降は、第1駐車場を完全に封鎖し、その代わりに第2駐車場にお迎え専用のレーンを設けた。これの影響で、15過ぎ～16時近くまでの間、道路渋滞が発生したが、警察からの改善指示等は特にきていない。（道路渋滞は、従来までのやり方でも発生する。）
- ・アンケートを取ったが、741人の出席者に対し、477人の回答をいただいた。（回答率：64.4%）「式典に参加して良かったか、島田が好きか、これからも住み続けたいか」については概ね肯定的な意見をいただいた。
- ・アトラクションもいつもお願いしているハレルヤさんに加え、リージャさんにも出演していただき、参加者も聞き入ってくれていたと思う。
- ・次回も今年を踏襲して進めていきたいと現在のところは考えている。引き続き、お気づきの点等ありましたら、ご指摘いただきたいと思います。

以下、質疑応答

- ・今年は保護者を入れることはなかったので良いが、以前は、国家斉唱の時など、2階で座っている保護者がいたので、来年以降、アナウンスするなど気をつけたほうがいい。
- 島工生に協力していただいたユーチューブ配信も視聴が良かったと聞いている。コロナ対応が今後変わる中で、そのような状況も含めて検討していきたい。

7 その他

- ・静岡県社会教育委員連絡協議会会報の記事作成について事務局から説明した。
- ・金谷宿大学 30 周年記念誌を本日お手元に配布した旨を報告した。

8 閉会

萩原副議長から閉会あいさつ

- ・本日は少ない人数での会議だったが、上野係長が判りやすく説明してくれて、公民館の様子が良く判った。私は旧市内に住んでいるが、動けなくなったときにどこへ行けばいいか、趣味を広げるためにはどこへいけばいいか、という視点で感じ、考えることができた。今の公民館をどうするかという議論もあるが、市内全体をみて、公民館がどういう役割を持つべきかという視点でも考えていかなければならないと思った。本日はありがとうございました。